

平成 26 年度  
夏期研究協議会  
私学経営研究会  
(教頭部会)  
実 施 案 内

一般財団法人 東京私立中学高等学校協会

会 長 近 藤 彰 郎

東京私学教育研究所所長 清 水 哲 雄

教頭部会委員長 平 方 邦 行

所在地 〒102-0073 東京都千代田区九段北 4 - 2 - 2 5 私学会館別館 4 階  
電 話 03(3263)0544 番 F A X 03(3263)0560 番  
(共 催 : 公益財団法人 東 京 都 私 学 財 団)

## 私学経営研究会（教頭部会）

今、日本の教育は大きく変わろうとしています。学校における教育環境はもとより生徒たちを取り巻く環境も ICT の進化と共に、劇的な変化を遂げています。昨年 6 月には、「いじめ防止対策推進法」が公布され、学校の実情に応じた基本的な方針の策定が義務付けられました。特に最近のいじめの傾向として、LINE など SNS・スマホを介したトラブルが頻発しています。そこで、講演 I の第 1 部では、情報モラル教育の普及啓発活動を行っている桑崎剛先生をお招きして、事例を中心としたお話をお聞きし、第 2 部では第 1 部の講演を受けたかたちで法律的な問題について掘り下げたお話を「名川・岡村法律事務所」の鈴木勝利先生を中心とする弁護士の先生方をお願いいたしました。

また、文科大臣の発言や教育再生実行会議が提言している教育改革を冷静に受け止め、21 世紀の教育を考える時、教育現場が大転換しなければならないのは、100 年以上続いてきた授業の形態とその方法ではないでしょうか。学びの構造を変えることなくして、自己肯定感を持った若者を育てることが可能なのでしょうか。講演 II では、21 世紀型教育を考えるうえで、PBL の研究やプレイフル・ラーニングの実践・研究を行っている同志社女子大学の上田信行先生の講演とワークショップを企画いたしました。

今回の研究協議会では、続「管理職の視点から今と明日を考える」という研究課題を設定し、企画いたしました。この会を通して、少しでも業務推進のうえで皆さまの参考となり、また、情報交換やネットワークづくりの場として活用していただければ幸甚に存じます。

大変ご多忙な時期とは思いますが、一人でも多くの方々にご参加いただきたくご案内申し上げます次第でございます。ぜひ、奮ってご参加ください。

1. 研究目標 続「管理職の視点から 今と明日を考える」
2. 会 期 7月28日(月)・29日(火)・30日(水)の2泊3日（現地集合・現地解散）
3. 会 場 山翠楼（神奈川県奥湯河原温泉）  
〒259-0314 神奈川県足柄下郡湯河原町宮上673  
TEL：0465-63-1111 <http://www.sansuirou.co.jp/>  
（裏表紙ご案内図を参照ください。）
4. 参加対象 副校長、教頭及びこれに準ずる教諭
5. 募集定員 60名
6. 参加費 1名につき 52,000円  
（3名1室利用。宿泊費〈2泊5食〉、資料印刷費、懇談会費）
7. 日 程 7月28日(月) 13:00受付開始 13:30より開会式  
7月30日(水) 11:30閉会式終了予定

時間 月 日	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19		
7月28日(月)				50	50		20	30	40	20	30	10	30
					受付	開 会 式	講演 I			休憩	夕食・ 懇談会		
							第1部	休 憩	第2部				
7月29日(火)	朝食	分科会 I		昼食	分科会 II		講演 II		休 憩	分科会 III	休憩	夕食・ 懇談会	
7月30日(水)	朝食	全体会		閉 会 式	(解散)								

## 8. 研究内容

- ①講演Ⅰ 第1部 演題 「スマホとSNS時代での“情報モラルの力”  
～ネット社会で賢く生きぬく生徒の育成は～  
講師 桑崎 剛 安心ネットづくり促進協議会特別会員  
熊本市立総合ビジネス専門学校 教頭

### 《プロフィール》

熊本市出身。東京理科大学理学部卒業。専門は数学教育。他に情報（モラル）教育、ICTの教育利用など。東京都私立高等学校講師、北区立中学校教諭を経て熊本県内の公立中学校教諭、教頭を歴任し現職。教諭時代は東京工業大学教育工学開発センターにて研究生として情報教育、ICTの教育利用について研究し、文科省「教育の情報化総合モデル支援事業」企画評価委員等に従事し、情報モラル教育の普及啓発に向け、各種セミナーでの講師や著書等の執筆活動を展開する。

- 第2部 演題 「いじめ問題（LINE等ネットを中心に）に関する法的知識」

講師 鈴木勝利 弁護士 名川・岡村法律事務所  
沖山延史 弁護士 名川・岡村法律事務所  
鈴木修平 弁護士 名川・岡村法律事務所

### 《プロフィール》

鈴木勝利：明治大学法学部卒。昭和48年4月弁護士登録。元関東弁護士会連合会理事。元学校法人明治大学理事。現在、学校法人東京音楽大学理事長、公益社団法人労務管理教育センター理事、株式会社戸田建設社外取締役。学校法務を専門として取り扱う。著書・論文多数あり。

沖山延史：平成13年慶應義塾大学法学部法律学科卒、平成19年10月弁護士登録。

鈴木修平：平成19年慶應義塾大学法学部法律学科卒、平成22年10月弁護士登録。

## ②講演Ⅱ

演題 「LOVE LEARNING」～プレイフル・ラーニングで世界をROCKしよう！～

講師 上田信行 同志社女子大学現代社会学部現代こども学科教授・ネオミュージアム館長  
《プロフィール》

1950年、奈良県生まれ。同志社大学卒業後、『サミストリート』に触発され渡米し、セントラルミシガン大学大学院にて M.A.、ハーバート大学教育大学院にて Ed.M., Ed.D.（教育学博士）取得。専門は教育工学。プレイフル・ラーニングをキーワードに、学習環境デザインとラーニング・アートの先進的かつ独創的な学びの場づくりを数多く実施。1996～1997 ハーバート大学教育大学院客員研究員、2010～2011 MITメディアラボ客員教授。

著書に『プレイフル・シンキング：仕事を楽しくする思考法』（2009、宣伝会議）、『プレイフル・ラーニング：ワークショップの源流と学びの未来』（2013、共著、三省堂）、『協同と表現のワークショップ：学びのための環境のデザイン』（2010、共編著、東信堂）など。<http://www.neomuseum.org>

③分科会Ⅰ 講演Ⅰのテーマに係る3つの分科会となります。

④分科会Ⅱ (ア) 教頭の任務 (イ) 教員人事と校務分掌 (ウ) 危機管理 (エ) その他

⑤分科会Ⅲ 講演Ⅱのテーマに係る3つの分科会となります。

※分科会では、10～20名前後の3つのグループ別に情報交換や意見交換を行います。

## 9. その他

① 参加のお申込みをいただきました先生方に、事前アンケートを送付いたします。分科会での資料となりますので、ご協力をお願いいたします。

② 可能であれば、6月30日(月)までに貴校の校務分掌、及び年間行事予定表を各1部、東京私学教育研究所・教頭部会担当宛てにお送りください。お送りいただきました資料は、当研究所で印刷し、当日会場で配付いたします。是非ともご協力をお願いいたします。なお、当日の持込みはご遠慮ください。

③ 今年度は、客室を全室禁煙といたします。喫煙する場合は指定の場所をお願いいたします。

## 10. 委員 (順不同)

委員長	平方 邦行 (工学院大学附属)	笠井 淳三 (獨協)
副委員長	大場 一人 (立正大学附属立正)	山岸 悦子 (立教女学院)
	江川 昭夫 (佼成学園女子)	跡部 清 (成蹊)
	住川 明子 (跡見学園)	